

第2期奈良県スポーツ推進計画

概要版

奈良県では、平成25年に策定した「奈良県スポーツ推進計画」に基づき、県民一人ひとりが運動・スポーツによる健康づくりに取り組み、「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を実現できるよう、だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくりに取り組んできました。

第1期奈良県スポーツ推進計画が満了を迎えたことから、これまでの取組の結果や成果等を踏まえながら、新たに制定された「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例」に基づき、「第2期奈良県スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画では、新たに「体を動かす」「人を育てる」「活動の場をつくる」の3つを柱として施策を展開し、引き続き、「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を目指すとともに、「持続可能で活力ある地域社会」の実現も目指します。



●スポーツ振興を通じて目指すところ

「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり」に取り組む

スポーツの持つ価値・効果を最大限に活用

体を動かす

人を育てる

活動の場をつくる

「生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」の実現

「持続可能で活力ある地域社会」の実現

●計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間

● 計画策定の背景

計画策定から10年、新たな時代に対応したスポーツ施策展開に向けて

- ▶ 第1期目「奈良県スポーツ推進計画」(平成25年策定)による成果と課題
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大による新たな生活様式の中で見直された「スポーツ」の役割
- ▶ 国の「第3期スポーツ基本計画」の策定とスポーツをめぐる新たな動き(部活動地域移行など)
- ▶ 2031年(令和13年)国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の奈良県開催が決定 など

● 計画の位置づけ

新たに制定された条例等に基づき策定

- ▶ 誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる地域づくりの推進に関する条例(令和5年4月施行)に基づき策定するもの
- ▶ 本県におけるこれまでのスポーツ推進の取組の成果や現状を踏まえて策定するもの
- ▶ スポーツ基本法及び国の「第3期スポーツ基本計画」(令和4年3月)の趣旨及び方向性を踏まえて策定するもの

● 計画の推進体制

PDCAサイクルで効率的に推進(成果指標をもとに評価・分析)

- ▶ 県スポーツ振興課が中心となり、医療・福祉、教育、観光などの関係部局、市町村、スポーツ団体、スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、学校、大学、企業、地域とも連携を図りながら推進します
- ▶ 計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→見直し(Action)というマネジメントサイクルを踏まえ、奈良県スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を確認しながら、事業の評価・点検・見直しに向けた意見聴取を行い、具体的な取組へと反映します
- ▶ 数値で把握できる成果指標を設定し、一年ごとにこれら进行评估・分析して、達成状況を検証し、事業の見直し等を行います

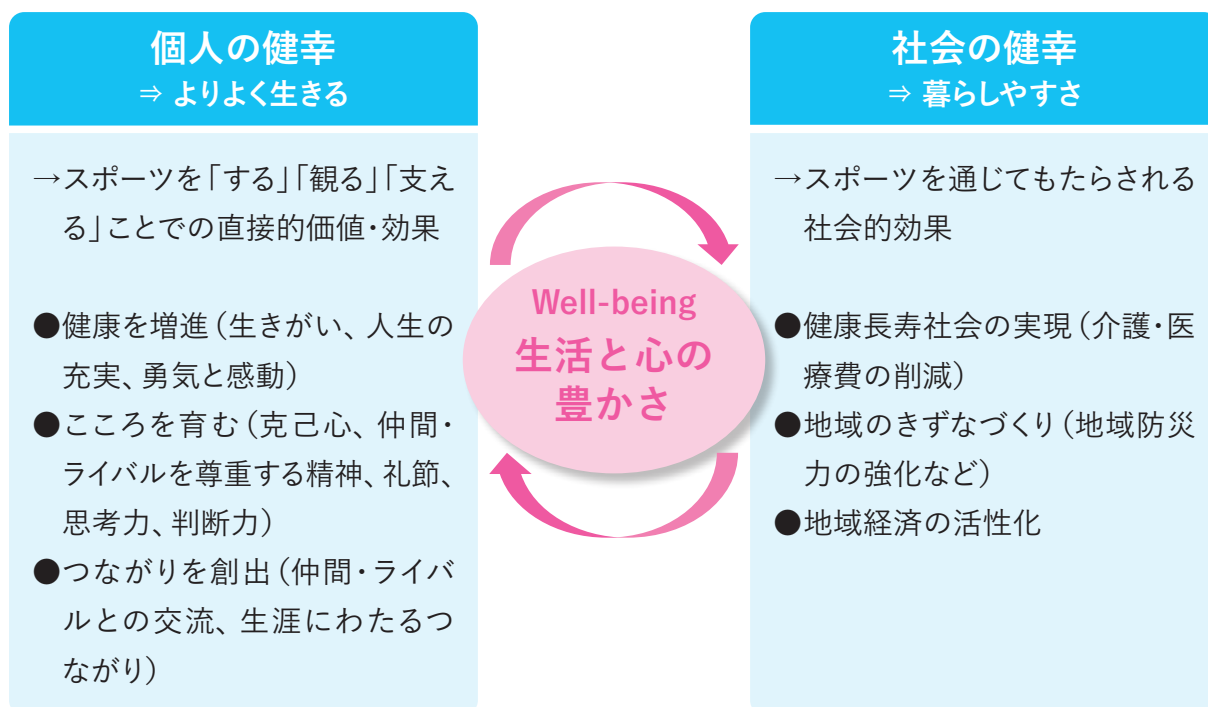


奈良県スポーツ振興のビジョン

■ スポーツの持つ価値・効果

一人ひとりのライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツの持つ価値や効果も多様化しています。本計画では、スポーツの持つ価値や効果を、一人ひとりがよりよく生きるための「個人の健幸」、そして、みんなが共によりよく暮らしていくための「社会の健幸」の2つの側面から捉えています。

これら2つの価値・効果の相乗効果により、一人ひとりの生活や心の豊かさをもたらし、社会全体としても持続可能な幸せ「ウェルビーイング (Well-being)」を感じられる社会の実現を目指していきます。



■ スポーツ推進の基本理念

本計画の推進にあたっては、次の5つを基本理念として、「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる環境づくり」に取り組み、県民全体でスポーツ推進を図ります。

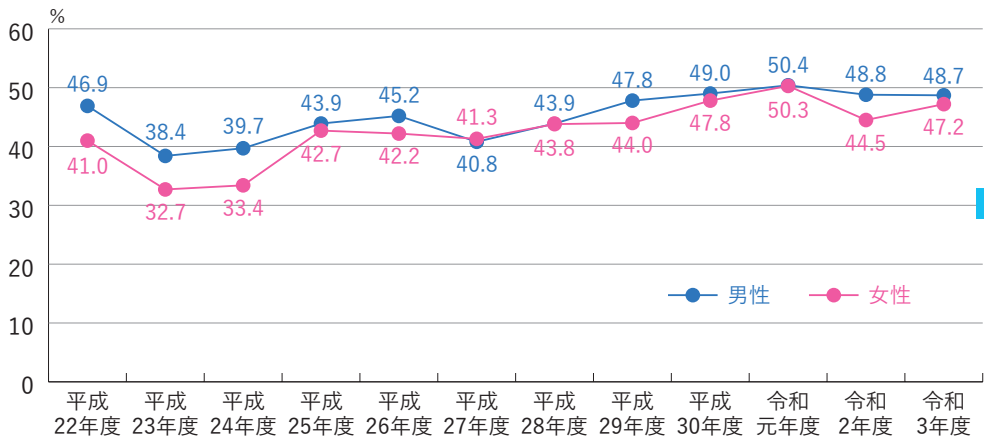
- 1 全ての県民が生涯にわたり自発的かつ継続的にスポーツを楽しむことにより、心身の健康及び体力の向上を通じて健康な生活及び長寿を享受するよう推進します
- 2 遊びを通じて子どもの豊かな心、身体及び思考力をはぐくむよう推進します
- 3 県民に夢や希望を与えるアスリートが活躍できるよう支援します
- 4 全ての県民が安全にかつ安心してスポーツに親しむことができるような環境を整備します
- 5 地域の活性化に資するよう、世代間及び地域間の交流並びに国際交流を図ります

〈基本理念実現の参考指標〉

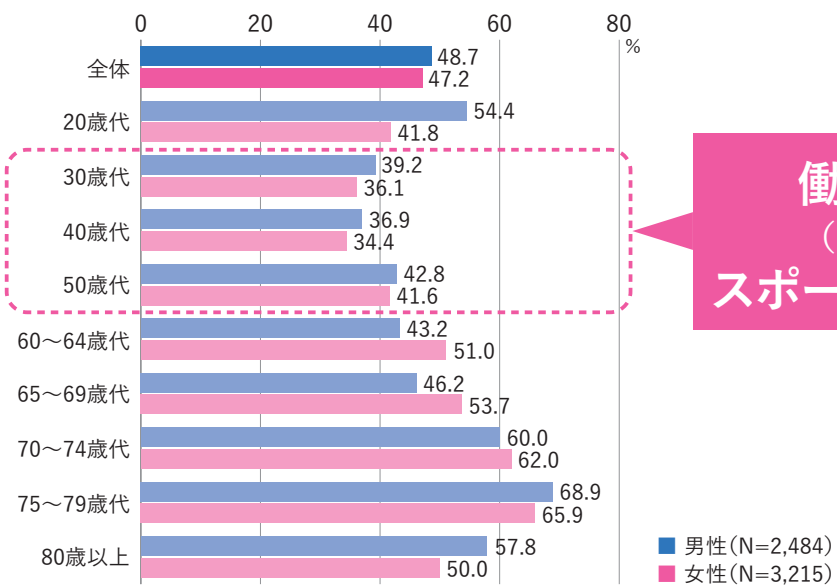
指標名	現状 (R3年度)	目標値 (R9年度)	前計画の 目標値 (R4)
1日合計30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施している人の割合	男性48.7% 女性47.2%	男性55% 女性55%	男性50% 女性50%
1年間にスポーツをしない人の割合	39.5%	30%	30%



1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上している人の割合



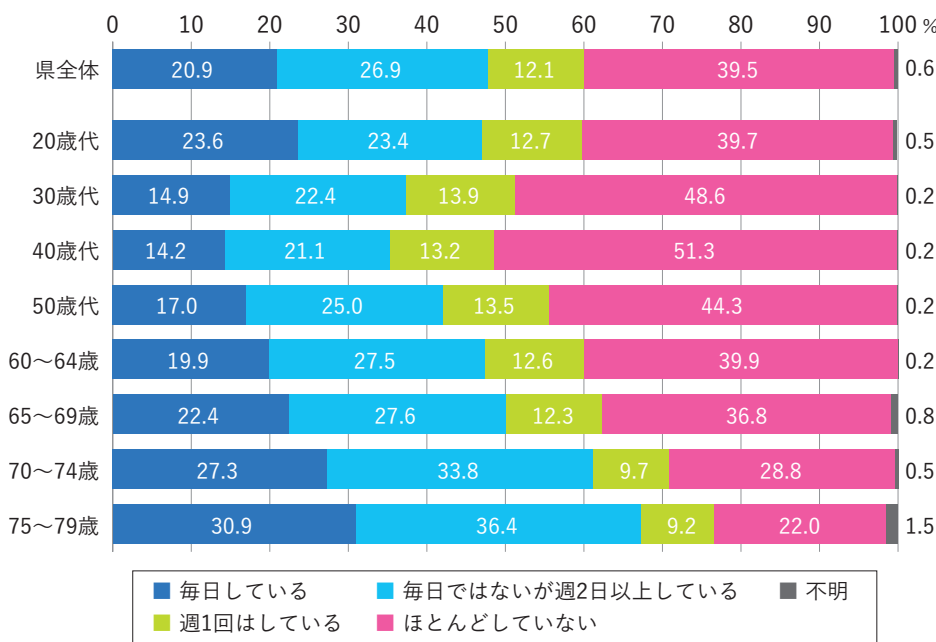
R9年度までに
男女ともに
55%を
目指します



働き盛り世代
(30~50代)の
スポーツ実施率が低い

資料:「令和3年度 なら健康長寿基礎調査報告書」(令和4年3月、奈良県)

1年間にスポーツをしない人の割合 39.5% (R3)



R9年度までに
30%を
目指します

資料:「令和3年度 なら健康長寿基礎調査報告書」(令和4年3月、奈良県)

1 スポーツ参加の推進〈体を動かす〉

目標

県民一人ひとりが生涯にわたり、その関心、適性等に応じて自主的かつ主体的にスポーツに親しみ、心身の健康維持・向上を図れる機会をつくります

施策指標

指標名	現状 (R3年度)	目標値 (R9年度)	前計画の 目標値(R4)
総合型地域スポーツクラブの 会員数	14,315人	20,000人	20,000人
子どもの体力合計点 (小5、中2)	小5男:52.33点 女:54.24点 中2男:42.14点 女:49.26点	全国平均以上	全国平均以上
〈新規〉 運動やスポーツをするのが好き な子どもの割合(小5、中2)	小5男:91% 女:83.9% 中2男:87.9% 女:74%	小5男:95% 女:90% 中2男:90% 女:80%	—
障がい者スポーツ指導員数	199人	300人	300人
法人格を有する総合型地域 スポーツクラブの割合	47.1%	70.0%	70.0%
スポーツイベント(交流大会)の 参加者数	1,076人	10,000人	10,000人
1日の総運動時間が60分以上 の割合(小5、中2)	小5:36.9% 中2:68.1%	小5:55.0% 中2:75.0%	小5:55.0% 中2:75.0%
障害者スポーツ大会における 競技参加者数	486人	1,200人	1,170人
〈新規〉 健康寿命(65歳平均自立期間)	男性:19.01年(3位) 女性:21.52年(21位)	全国1位	—

施策

1 県民参加型スポーツの推進

- (1) 総合型地域スポーツクラブの連携強化
- (2) 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- (3) 総合型地域スポーツクラブによる学校部活動の受け皿づくり
- (4) 県民が参加しスポーツを楽しむイベントの開催
- (5) 奈良マラソンの開催

2 子どものスポーツの推進

- (1) 幼児期のスポーツ(遊び・運動)の推進
- (2) 子どもの体力向上方策の推進
- (3) 学校部活動の地域スポーツクラブ活動への移行
- (4) 子どものスポーツ活動環境の充実

3 生涯スポーツの推進

- (1) 子育て世代、働き盛り世代のスポーツの推進
- (2) 女性がスポーツに取り組みやすい環境づくり
- (3) 高齢者のスポーツ推進

4 障害者スポーツの推進

- (1) スポーツを通じた共生社会の実現
- (2) スポーツに取り組む機会の充実
- (3) 障害のある人がスポーツを楽しむことができる環境づくり
- (4) 障害者スポーツを支える人材の育成



2 スポーツの推進を支える人材の育成〈人を育てる〉

目標

スポーツの持つ価値や効果が発揮できるよう、アスリート、指導者、ボランティアなどのこれからの奈良県のスポーツ振興を担う人材を育成します

施策指標

指標名	現状 (R3年度)	目標値 (R9年度)	前計画の 目標値 (R4)
スポーツ指導者数	2,438人	4,000人	4,000人
〈新規〉 研修会・講習会参加者数	33人	500人	—
国スポの総合成績	天皇杯25位 皇后杯32位 (R4)	20位台定着	20位台定着
〈新規〉 スポーツボランティア登録者数	452人	1,000人 もしくは 国スポでの必要数	—
全国大会1位の奈良県選手の人 数・団体数	22人	80人	80人

施策

1 人材の育成 (コーディネート・マネジメント・指導者)

- (1) スポーツ指導者等、マネジメント人材の確保、養成
- (2) 障害者スポーツ指導者等の養成

2 選手の育成

- (1) 競技団体を通じた競技力の向上
- (2) 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けたアスリートの育成
- (3) 競技スポーツの成績優秀者への表彰
- (4) パラスポーツ選手の発掘・育成
- (5) アスリートとキッズ・ジュニアの交流を通じた競技力の向上

3 サポート体制の整備

- (1) スポーツボランティア等の人材育成
- (2) 生涯スポーツ功労者等への表彰
- (3) 様々な団体が連携したスポーツマネジメント教育の展開
- (4) アスリートのセカンドキャリア形成の支援

4 観るスポーツ・楽しむスポーツの機会創出

- (1) 観るスポーツの機会の創出
- (2) 無関心層等へのスポーツ促進
- (3) 山間部での運動実施率の向上

5 健全性・安全性の確保

- (1) スポーツ団体のガバナンス・コンプライアンスの強化
- (2) スポーツインテグリティの推進



3 スポーツに親しめる環境づくりと地域の交流促進及び地域の活性化〈活動の場をつくる〉

目標

県民のだれもがスポーツに親しめる環境をつくります。また、県の豊かな自然環境や歴史文化資源を活用したスポーツイベントの開催等により、地域交流の促進、地域の活性化に寄与します

施策指標

指標名	現状 (R3年度)	目標値 (R9年度)	前計画の 目標値(R4)
橿原公苑年間利用者数	174,653人	340,000人	330,000人
まほろば健康パーク年間利用者数	305,888人	330,000人	330,000人
スポーツ合宿でスイムピア奈良を利用する人数	340人 (R2)	3,500人	3,000人
〈新規〉 学校施設一般開放の利用者数	2,656人	5,500人	—
プロスポーツ等の試合数 (有料観戦)	45試合	60試合	60試合

施策

1 スポーツ環境の整備

- (1) スポーツ拠点施設の整備
- (2) 民間活力の積極的な活用の検討・推進
- (3) 既存スポーツ施設のファシリティマネジメントの推進
- (4) 身近な公共施設等の整備・活用
- (5) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境配慮型施設整備の推進
- (6) だれもが気軽にスポーツにふれることができる環境づくり

2 情報発信

- (1) スポーツイベントや施設情報等に関する情報発信力の強化
- (2) デジタル技術を活かしたスポーツDXの推進
- (3) 観光分野と連携したスポーツツーリズムに関する情報の発信



3 地域交流の促進

- (1) プロスポーツチーム等様々な主体と連携した地域との交流の機会づくり
- (2) スポーツキャンプやスポーツ合宿等の誘致
- (3) スポーツを通じた友好交流の促進

4 地域経済の活性化

- (1) 自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進
- (2) 奈良県の魅力資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
- (3) スポーツコミッション設立に向けた産官学等の連携方策の検討

5 国スポ・全スポ開催を契機としたスポーツ施策の展開

- (1) 国スポ・全スポによるレガシー創出に向けた取組検討
- (2) 国スポ・全スポ開催を契機とした環境整備

